



JET 参加者を国際化のキーパーソンに！

～JET 参加者活用促進の取組～

JET プログラムの現状

「語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）」は、今年で 30 周年を迎え、世界 65 か国から延べ約 6 万 5 千人の JET プログラム参加者（以下 JET 参加者）を受け入れています。近年は、国の施策や私立学校での任用増加などを背景に、JET 参加者の招致人数が増えています。

JET プログラムの魅力の一つは JET 参加者を幅広い活動に活用できることですが、一方で当協会には、一部の任用団体から、JET 参加者を受け入れたものの、どのように活用して良いかわからず悩んでいる、といった声が寄せられています。これを受けて、当協会では JET 参加者をより効果的に活用していただくための取組を強化しています。

今回は、活用促進の取組と、任用団体の皆様に活用していただける資料についてご紹介します。

JET 活用促進会議

最も大きな取組として、平成 27 年度から平成 28 年度にかけて、東京・名古屋・広島など、全国の 8 都市で JET 活用促進会議を開催しました。この会議では、任用団体の方や任用を検討している団体の方に対して、JET プログラムの概要や「JET 活用内容に関する調査」（平成 27 年度実施）の結果概要をお伝えしたほか、JET 参加者を積極的にご活用いただいている任用団体の方の講演、参加者同士の意見交換会を実施しました。

8 会場で延べ 146 人の方にご参加いただき、各会場で活発な議論が行われました。ALT については、掲示物・CD の作成などの英語の授業以外での活動や、英会話教室など地域での活用、JET 活用促進会議の様子



CIR については、商談の通訳や情報発信など、インバウンドや経済交流等での活用などについても話し合われました。参加者からは、「他県の状況を聞くことができ、大変参考になった」、「活用できる内容がたくさんあった」、「予算時期の開催で来年度の事業計画の検討に役立った」などの意見が寄せられました。

都道府県別サポート研修会への講師派遣

当協会では、研修会を開催しているほか、各都道府県で行っている研修会への講師派遣も行っています。このうち、各都道府県で任用団体の担当者向けに行っている研修会への講師派遣事業は、今年度、内容・時期を見直して、JET 参加者の活用や異文化コミュニケーション、担当者向けのリソースなどについてもご紹介することとしました。すでに複数の県で実施したところ、「ALT の夏休みの活用で悩んでいたため、参考になった」、「具体的な事例を知ることができて良かった」などの意見をいただきました。

生きた英語の習得へ！ ALT の効果的な活用に向けての取組

JET-ALT は、英語の授業だけではなく、ほかの科目、行事、地域での活動などに活用できます。任用団体への調査では、校内掲示物の作成、イベントへの協力、図書館での読み聞かせ、防災マップの作成、警察署での英語指導などを行っているという回答がありました。こういった活動に ALT を活用することで、地域の住民等がネイティブによる生きた英語に触れる機会が創出されています。

・ALT 活動状況調査

そういった中で、当協会では ALT の更なる活用促進を図るため、全国の ALT に対し、職務から職務外まで広範な内容の調査を行いました。この「ALT 活動状況調査」の調査結果は全国の任用団体に情報提供されています。

この調査結果から、多くの ALT が地域の祭りや同好会、各種教室などに参加していることがわかりました。こういった勤務時間外の活動も、地域の国際化の一助となると考えられます。一方で、35%ほどの ALT は長期休業期間中の業務量が少ないと感じており、長期休業期間中にもっと働きたいと思っている ALT が多いことがうかがえました。

ポイントは「バイカルチャー」！ CIR の効果的な活用に向けての取組

CIR は、言葉が堪能だけでなく、日本と母国、2つの文化を理解している貴重な人材です。翻訳や通訳を行うだけでなく、外国人の視点を取り入れて国際化事業を行うことで、より大きな効果をえることができます。また、近年では経済・観光分野での活用にも関心が高まっています。活用の幅が広いので、当協会でも情報収集・提供に努めています。

・CIR ハンドブック

当協会では JET 参加者向けに職種別のハンドブックを作成し、ホームページで公開しています。このうち、CIR ハンドブックは、CIR はもちろん、任用団体の方にも参考としていただけるよう、内容の充実化を図っています。

このハンドブックには、各 CIR や任用団体の業務内容や業務事例について、団体名等も含めて掲載していますので、CIR、任用団体の方のほか、任用を検討している団体の方にも参考としていただけます。

<http://jetprogramme.org/ja/acs-h/>

・CIR データベース

また当協会では、CIR からの要望に応じて、CIR データベースを作成しました。CIR たちが、自身が行っている業務



外国人旅行関係者に説明をしている CIR

や得意分野などと連絡先を記載しています。CIR のみならず、任用団体の方にもぜひご活用いただきたいと思っています。

プロ選手の指導力！ SEA 任用促進の取組

SEA (スポーツ国際交流員) は、母国でその分野の指導者として優秀と認められた青年で、希望する競技・国の方を招致することができます。住民の方にとっては、海外における指導実績のある元選手などから指導を受けられる、大変貴重な機会となります。当協会では現在、SEA の PR を強化しています。国体、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック開催を契機にジュニア選手の育成に SEA を活用してみませんか？

終わりに～実はお得?! JET プログラム活用のススメ

JET 参加者は、在外公館で選抜された優秀な人材であり、日本への関心や仕事に対するモチベーションも高い傾向があります。一方で、JET 参加者は割高だと思われがちですが、JET プログラムの導入にあたっては、交付税措置があります。また、平成 28 年度からは、市町村についても JET 参加者の生活や業務の支援をするプログラムコーディネーターを導入した場合、交付税措置がされることとなりました。

これを機会に、ぜひ JET プログラムの導入・増員をご検討いただければ幸いです。

JET プログラムの導入や、JET 参加者のより幅広い活用を検討している自治体の方は、ぜひ当協会にご連絡ください。

連絡先

自治体国際化協会 JET プログラム事業部
03-5213-1733